

# おおさか

発行所: 大阪府看護連盟

〒536-0014

大阪市城東区鳴野西2丁目5番25号

ナーシングアート大阪

電話 06-6964-5655

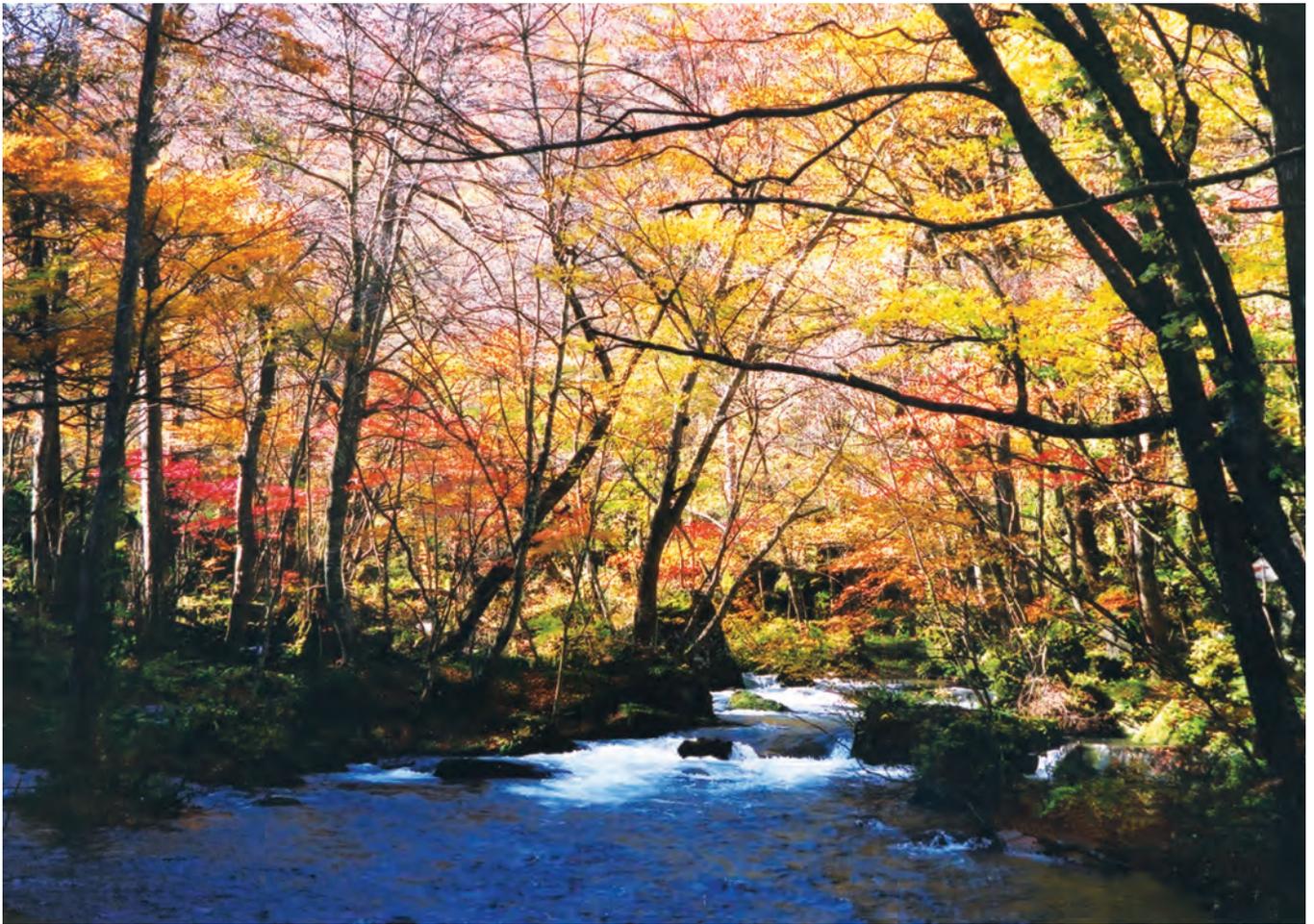
FAX 06-6964-5665

発行人: 前川 マキコ

発行日: 平成21年10月10日

印刷所: 新栄印刷

No. 09-3(通-38)



「奥入瀬—秋模様」

写真 小阪佳代氏

|                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 私の夢—生まれてきてよかった社会の実現—… 2 | ポリナビ設立への思い…………… 7  |
| あべ先生当選おめでとうございます…………… 3 | ポリナビ事務局レポート…………… 7 |
| 新任役員挨拶…………… 4           | お知らせ…………… 8        |
| 支部長だより…………… 5~7         | 編集後記…………… 8        |



# 私の夢 - 生まれてきて よかった社会の実現 - ～当選出来、再び活動開始～

衆議院議員

あべ 俊子

大阪府看護連盟の皆様、こんにちは。この度は皆様の温かいご支援のおかげで、再び国政の場へ送り出していただくことができました。改めて全国の看護連盟の皆様のお力添えの大きさを噛み締めています。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

選挙区内を駆け回り地元の方と触れ合う中で、障害や病気、貧富に関係なく、どんな人でも「生まれてきてよかった」と思える社会を実現することが、私が政治の道を志した原点だったことを強く再認識しました。そのためには、安心できる医療・福祉・年金をはじめとした迅速な社会保障制度の充実が求められています。

そしてまた看護職の一人一人が「看護職になってよかった」と思えるような働きやすい労働環境や、生き甲斐を持って看護ができる制度や法を整備していくことが私に課せられた使命であるとも痛感しています。

今回の総選挙を終え、自民党は新たな一步を踏み出すこととなりますが、引き続き看護界における諸課題の解決に向けて全力で頑張っけて参りますので、今後とも温かいご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。





# あべ俊子衆議院議員 2期目当選 おめでとうございます

大阪府看護連盟会長

前川 マキコ

あべ先生、おめでとうございます

厳しい風の中、2期目当選の連絡が本部から早い時間に届き、ほんと、皆が、岡山に入って応援した姿を思い出し、参加してくれた会員にありがとうと独り言を、その後は、心穏やかにテレビ速報に、しかし、近畿で応援した先生方の苦戦に、胸が痛み、頑張っていた姿がダブリ何とも悲しい結末に、重苦しく、やり場のない気持ちに。来る次期にむけて頑張ってください、がんばりましょう。

同じ日に、私たちと共に立ち上げた看護を考える地方議員の会から、羽曳野市議選挙に松村尚子先生が、柏原市議選挙に山下亜緯子先生、摂津市議選挙にオブザーバーの渡辺慎吾先生がそろって当選の報にホッとしました。

これでいいのだろうか、みんなが考え反省し、次のステップめざして、変革が必須になるう。

9月3日から4日、1泊2日で若き看護師とともに松下政経塾のご協力を頂き、古山和宏塾長さんからご指導を受け、政経塾で研修中の北川さん、神奈川看護連盟青年部lifu中村さん、平間さんとともに学ばせていただき夕食前には美しい湘南ビーチまで散歩、素足になって砂浜を走る参加者の笑顔に、何か変化を見つけた私たちは、その後も学び意見交換し、ぐっすり眠り神奈川県に世界一美味しい朝食が食べられるレストランがあると聞き、7時30分にホテルを出て、移動し海辺のレストランで、チヨッピリ贅沢な時間を過ごし、都内に入り、過密なスケジュールに、昼食抜きで衆議院会館見学に、ここでもたっぷり見学させていただき、あべ先生の議員室も訪問しカトレアの美しさと、廊下に積まれた多量のゴミに、当選、落選の差の現実に胸が痛みました、来年に向けて思いが、その後、看護連盟本部に移動し、青年部立ち上げに向けて窪田幹事の協力をえて、意見交換を、予定を2時間オーバーし快い疲労の中で終了し帰阪に

政界に難しい時期がしばらくあるでしょう皆でこの難しい時期を乗り切り活路を見出しましょう





## 副会長就任にあたって

副会長 宮地 緑

この度、副会長という重責を担うことになり、今迄の教育現場と全く違った職域ですが、頑張りたいと思っています。

私と看護連盟との出会いは、連盟が発足した当初からでしょうか、定かではありません。と言うのは、その時代は看護協会や連盟への入会は看護師になると自動的に加入させられていたように思います。

私自身が自覚して入会したのは、昭和40年、公務員で看護教育の現場に移動してからです。看護の問題解決や質の向上、働く者の環境づくり等など、組織的な取り組みに対して「私の出来る範囲で、一体何が出来るのか」を考えました。表立った活動は出来ないので、せめて連盟を援護するすることは、私にも出来ると思い入会して現在に至っています。

これから、会の理念を十分に理解し、会長の指導のもとに、皆様のご協力ご支援を得まして微力ですが、努力していきたいと思っています。

## 新任役員挨拶

### 大役をお引き受けして



幹事長  
櫻井能武子

平成21年7月4日の総会において幹事長としてご承認いただき2ヶ月余経過し、こんな大役が私に

できるのかと不安を感じております。といひますのは、着任早々の総選挙と「たかがい恵美子と未来を創る会」の活動等、慣れないところにあれもこれもと大波（私にとっては）が寄せて来ました。が、皆様方の多大なるご協力を得て大波をどうにか乗り切ることができたと思っています。ありがとうございます。

今後、もっともっと大きな波もあることでしょう。会員の皆様や、関係者の皆様のご意見やご指導をいただきながら、役割が果たせるよう取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。よろしくお願ひします。

### 幹事就任にあたって



幹事  
高浜真紀子

私は一昨年、淀川キリスト教病院を定年となりその後、再雇用制度により引き続き勤めさせてい

ただいています。

この度は、連盟の幹事として仕事をさせていただき事になりました。

支部の役員として関わってからは、まだ、数年とたっていません。

まだ未熟ではありますが、まずは、看護連盟を理解し勉強しなければならない事を痛感しています。私自身の「看護」に対する考え方は「楽しく看護」ができるそのための職場環境を整えることである。

そのことを看護連盟を通して、連盟の重要性をこれからの看護職の人たちに伝えていきたいと思ひます。微力ではありますが一生懸命頑張っまいます。

府北西支部 施設訪問で理解を



支部長 中川 益枝  
今年度は、連盟未加入の施設訪問と基礎研修開催を重点に活動を開始しました。

当支部内には連盟未加入の施設が多数ありますので、これらの施設を訪問し会員増を目指します。また、この一年間に7回基礎研修を開催します。看護連盟の活動についての理解を深め、国政の場に看護職を送るため、皆様一人ひとりが周囲の人も巻き込み、一人でも多くのひとが投票行動につながるよう皆様のご協力をお願い致します。

千里中央支部 支部活動は活発



支部長 永津 八代子  
千里中央支部は、今年4月千里中央病院施設支部として認可させて頂きました。

昨年10月に新病院としてオープンしました千里中央病院は、連盟会員20名で立ち上げましたが、活動は中々活発で会員の意識は日毎高まっています。中でも、幹事長の稲田さんは支部の盛り上げの要的存在です。

大きな活動は、8月7日に「たかがい恵美子さん」を、3支部(北西支部・協和会支部)とでお招きいたしました。打ち合わせから、準備まで気持ちよくできました。皆で一つ一つ活動していき、成果をつかむ事が連盟チームとしての「やりがい」です。これからも、皆様方のご助言を賜り、頑張っ活動していきたく思いますのでよろしくお願い申し上げます。

府北東支部 支部活動の心構え



支部長 島崎ひろみ  
スローガン「ベットのサイドから政治を変える」を基に一人でも多

くの看護職の人達から、現場の声をしっかりと聞きとり、問題・改善対策等に知恵を出し合い、それぞれの立場で役割が果たせる強い支部組織へと一歩前進、成長できるように、支部会員の皆さまと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

府東支部 支部活動にご協力を



支部長 高戸 サチエ  
府東支部会員の皆様、平素は支部活動にご協力を賜りありがとうございます。

平成21年度の府東支部会員数は229名(施設数19・個人会員3名)の会員数の少ない支部ですが、役員6名(幹事3名・支部リーダー3名)と、支部活動の活性化を目指してまいります。

しかし、支部活動には会員お一人お一人のご協力が不可欠です。皆様の更なるお力添えをお願いいたします。

さあ、来年の参議院選へ向けてスタートです。看護職の結束力をアピールしましょう!

今年一年よろしくお願い致します。

船舶保険支部 連盟活動の重要性が伝えられるよう頑張ります



支部長 前川テル子

昨年度からこの任を仰せつかり、活動させていただいております。何分にもはじめてのこと故、戸惑うことばかりですが、昨年参加させて頂いた支部長徹底研修は、このような気持ちを払拭させると共に、連盟に関する認識不足を痛感する機会となりました。この研修で感じた「看護の質向上を実現させるには私たち看護師ひとり一人が行動を起こすことなんだ」との思いを、ひとりでも多くの看護師に伝えられるよう、部所単位で全部所に講義に出向かせていただきました。これからも引き続き、施設支部の役員と共に来年の参議院選挙での勝利を目標に連盟活動をしていきたいと考えています。

支部長だより

大道会支部 支部立ち上げ2年目にあたり



支部長 柴田まゆみ  
平成20年秋に施設支部として名乗りを上げました。

これまでの連盟活動の中で学びや経験をもとに、組織力の強化を図り、積極的に活動につなげていきたいと思ひます。会員みんなが元気に活動に参加できる、「元気な支部」を目指しています。みなさん御指導よろしくお願い致します。

市南支部 来年の選挙に思いをはせて



支部長 安井寛子  
市南支部長を引き受けて3年目に入ります。

支部の役員はほとんどが、1年毎に交代となりますが、係わった役員が周りの人達に、看護連盟の役割、看護の思いを伝え、広めてほしいとの思いを込めて、役員ともども、一年、一年を頑張ってまいりました。

今年は、来年の参議院議員選挙に向けて、役員一同こころを一つにして、基礎研修・施設訪問・研修等を通して、ひとりでも多くの人に理解していただき仲間を増やしてまいります。そして、『やりがい、いきがい、たかがい恵美子』を看護界の代表として、国会に送るべく精進して参りたいと存じます。支部の皆さまのご支援を宜しくお願い致します。

堺支部 支部長挨拶



支部長 榎山久美

堺支部では昨年、協会に加入しているが連盟に加入していない約40以上の施設を1件1件を訪問し連盟の役割を説明しました。会員の増加という成果はまだ目に見えて現れていませんが、快く出迎えてくださった施設も多く、私たちの声を広く伝えていくことが出来たと感じています。新任の支部長で皆様にご迷惑をかけることもあるかと思ひますが、ご指導、ご支援をよろしくお願い致します。

## 府南支部

## 支部長挨拶

支部長 中島陽子



府南支部の支部長として2年目を迎えました。役員や会員の皆様に支えられながら、支部活動ができていることに感謝しております。

昨年は、看護連盟の役割を理解する基礎研修を含め支部研修を2回実施し、支部内の施設33箇所を訪問させていただき、看護連盟の役割を理解してもらえるように取り組みました。

今年はさらに会員の皆様と力を合わせて、看護連盟の活動を発展させていきたいと思っております。

## 泉南支部

## 支部長挨拶

支部長 原 知子



「ベットのサイドから政治を変える」を信じて、大阪南部で細々と活動

を続け、やっとその芽が出始めた泉南支部です。昨年、南幹事の強力な応援により、入会施設数も着々と増加しています。来年には、その成果を出すときです。支部の皆様とともに協力し合い、看護の力を発揮して行きましょう。

## 市東支部

## 今、しなければいけない事

支部長 津山寿子



看護職を続けて40年余り、初めて白衣を着て、新米看護師として働き出し、少し慣れたところを思い出しています。目を輝かせ、生きがいとやりがいを感じながら走り回っていました。それがだんだんとしぼみ、現実の厳しさを知り、それでも院内で小さい声を出しながら改善を訴え続けて来たように思います。連盟活動を知り、私達の先輩方が国会の場で、次々と問題解決に努力して下さっている事を、後輩に伝え、私達、看護職の問題は看護職でないと解決が出来ない事。その為は何をすべきかをしっかりと伝える為に行動したいと思っております。

## 府北支部

## マンモス支部のこれから

支部長 阿部 哲子



私たちの支部は1353名の会員を要するマンモス支部です。しかし、積極的に、自ら入会した会員はわずかですから、毎年“連盟の役割”をい

かに知ってもらうのが課題になってきます。そこで、去年から“プロフェッショナル”をテーマに、色々な分野の講師を招き、講演会を開催し、その講演の前30分を利用し、ミニ研修を行っています。また、施設リーダー会も若い会員を育てることを主眼におき、ただの連絡会に終わらないように様々な工夫をしています。ですから、2カ月に1回は何かの会を催している事になり、定例役員会だけでは事足りず、臨時で集まることもしばしばです。月1回の役員会は私たちの“隠れ家喫茶”で行っていますが、決して義務感ではなく、ちょっとした楽しみになっています。

しかし、そろそろ施設支部の立ち上げを考えなくてはいけない時期かとも思っています。連帯が強まった今だからこそ…。

## 日生病院支部

## 支部長挨拶

支部長 町田 恵子



日生病院支部は、平成20年8月に設立し、役員7名で構成されています。

現在、入会率57%と低めではありますが、次年度80%を目標に、基礎研修等を通じてアピールしていきたいと思っています。

市西にあつて、各々が施設内支部を立ち上げていますが、今尚連携し、研修会等共同で運営しています。

今後も、他支部と連携・協働し、会員の増加を図ると共に、看護連盟活動の目的が正しく理解され浸透出来るように頑張りたいと思っております。

## 多根支部

## 多根支部アピール

支部長 武内 千秋



施設支部を立ち上げて早いものでもうすぐ1年となります。

“連盟って…?”という若いメンバーが役員として地道に頑張っており、今年度は看護師の約79%が連盟会員となることが出来ました。

連絡の速さ、何でも言えるという施設支部を立ち上げての利点を今後も活かし、力を合わせて頑張っていきたいと考えております。

## 枚岡支部

## 施設支部が育っています

支部長 松本 益美



21年3月病院支部を立ち上げました。会員は現在15名です。会員は師長・主任で構成されていますが、まだ未加入の人

もいます。スタッフも含めて会員増を図って行きたいと思っています。連盟の役割は国政に看護の代表を送ることです。看護職の社会的役割と責任に見合った処遇がなされているのか、教育の一本化は出来ないのかなどなど国会の場で審議され法制化されなくてはなりません。看護の代表の意見が反映されるためにも絶対に国政の場に代表が必要なのです。是非選挙に行き国民の義務を果たしてください。政治に関心を持ってください。一人でも多くの代表を国会に送るために力を合わせて行きましょう。

## 千船支部

## 施設支部のフレッシュパワー!

支部長 西藤 幸子



市内の西の端、兵庫県に隣接する西淀の地に施設内支部として平成21年2月に承認されました。これまでの市西支部がすべて施設内支部として立ち上がりましたが、研修会や講演会などは合同で行い、これまでに2回開催して横の連携強化も図っています。

会員数200名余り平均年齢29.5歳、若者のフレッシュなパワーと明るさを基盤に私たちの、私たちによる、私たちのための看護と政治の重要性をわかりやすい言葉で話すことをモットーとして会員増につなげていきたいと思っています。

## 明治橋支部

## 3年目がんばっています

支部長 永田由紀子



施設支部第1号となり、今年で3年目を迎えました。

会員数も約130名となり、毎年新入職員も加わってくれるので、若さあふれる支部となっています。

施設支部なので、伝達が会員一人ひとりに行き届きやすく、研修などの参加率が高くなりました。

また、支部長はじめ幹事は仲がよく、一致団結して活動に取り組んでいます。

たかがい恵美子さんを国政の場に送ることを大きな目標にし、みんなががんばります。

暁明館病院支部 支部紹介



支部長 浅岡 和正

当院は大阪西北部に位置する、此花区(人口推定・64000人)にあつて、唯一の救急指定病院であり、332床を有する、社会福祉法人の病院であります。本年3月に支部を設立しました。当院はミッションとしてキリスト教精神に基づく全人的医療をめざしています。地域医療としては、老健施設および診療所など11施設を含めた、地域完結型の医療事業を展開しています。地域の医療と健康を守るために、地域の声が少しでも政治に反映されることを願って活動しています。

東淀川支部 施設支部 小さいけれど  
どっこつと



支部長 樋口 和代

私たち東淀川支部は、小さい規模ではありますが地道に活動していきたいと考えております。連盟会員を増やすこと、現場の声を伝えるべく高階さんの応援を行っていききたいと思っております。日々の業務に追われがちですが、他の支部の方々とも協力しあい、微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。ご指導よろしくお願ひいたします。

協和会支部 支部紹介



支部長 城島 理子

昨年5月に支部長の任命を受けてから、何もわからないまま不安を感じながらやつと1年が過ぎました。この1年の間慣れない連盟活動と支部長の役割の重大さと責任の重さに力不足を感じながらの日々でした。しかし支部役員・会員の皆の若さと団結力は素晴らしく、皆の協力に支えられて1年何とかやって来られたのだと感謝の思いで一杯です。来年に向けてまだまだ忙しくなりそうですが、会員の皆様の為に精一杯頑張っていきたいと思ひます。これからも宜しくお願ひします。

ポリナビ設立への思い

島崎 ひろみ

今日、国民の健康と安全で安心した暮らしを守るため、社会保障制度の再構築が求められています。患者中心で安全・安心な医療・看護の提供のためには、臨床現場における安全対策や在宅医療の推進及び看護職の望ましい労働環境を整える支援など、政策的取り組みが必要である。

今後10年20年いや50年先、国民の健康を守り、働く看護職の仲間がその使命と責任と役割が果たせる社会環境・社会保障(看護職の身分保障)等々より良い社会を創る。即ち、看護政策の取り組みは看護職の重要な課題であります。

これらのことを多くの若い青年(看護師)の人達に理解していただき、諸先輩方が、守り育ててきた看護の歴史を更に発展させていく任にあること。

やがて向かえる

未来の看護界に夢と希望、国民の健康を守る看護職の発展を青年部に託し、共に設立への活動に邁進していきたい。

ポリナビ事務局レポート

～大阪府看護連盟研修会の宿泊研修～

9月3日(木)、4日(金)の2日間で大阪府看護連盟研修会が行われました。

1日目は神奈川県の松下政経塾で勉強会が行われ、2日目は、江の島観光、国会見学、ディスカッションでした。

神奈川県から参加した東海大学医学部附属病院高度救命救急センターの中村橘子さんから感想を頂きました。

「私は、今回の研修に参加させて頂き本当に幸運でした。普段では出会う機会のない方々と出会い、同じ時間を共有することで自分の感性を磨くことが出来ました。大阪の看護師の方々には私の予想通り、明るくユーモアがあり何よりも雰囲気良かった。土地は異なっても、同じ看護師としてやはり悩む所は似ていて、悩みを抱えているのは自分だけではないと分かり熱く語る事が出来た。今後もこのような機会を大切にしていきたい。」

皆さんも、研修の機会を是非ともご活用ください。

## お知らせ

## 1. 大阪府看護連盟青年部(ポリナビ)の立ちあげをします。

20歳代会員を中心とした集まりです。

……あなたもナビゲーター役をしてみませんか。

活動をとおして仲間づくりをしていきましょう。

「私たちの働く環境」「日本の医療」「患者さんの笑顔」の為に!

下記の日時で「たかがい恵美子氏と青年部の交流会」を開催します。

と き：平成21年10月11日(日) 15時30分～18時頃まで

ところ：大阪市立大学医学部学舎 4階 小講義室1

## 2. あべ俊子議員の応援ありがとうございました。

選挙前に大阪府看護連盟の支部の皆様の応援色紙の一部を紹介します。



## 編集後記

大阪府看護連盟は今大きなうねりを起こそうとしています。

現在支部が23支部うち12支部が施設支部であり、今後35支部をめざしています。

その支部活動について各支部の支部長さんに今の思いや目標を書いていただきました。

リフォーム連盟が設立した時11支部だった支部組織が拡大、増設され活動が明確になり、活発に意見交換する姿を実感しています。そして本当に仕事の中で安全で働きやすい職場、働く意欲の増幅、長く働き続けられるような環境、基礎づくりを若い人達の力が「青年部の立ち上げ」にむけて実現させようとしています。

今号ではその事を読者の皆様を感じ取っていただければ幸甚です。基礎研修の成果でもあり本当の意味で看護連盟の存在意義を理解された方が増えているからでしょう。看護職の幅広い年齢層がしっかりとつながり合って看護の真のよこびを味わえるよう共に力をつくしましょう。 I・T